

## JICAの現場から 45

5月3-4日にヨハネスブルクで「日アフリカ官民経済フォーラム」が開催された。南アフリカ訪問が初という企業も含む100社以上の日本企業と、アフリカ各国から30人の閣僚級を含む42カ国、アフリカ企業約400社の関係者ら、総勢約2000人が参加し、アフリカと日本の距離を縮める絶好の機会となった。南アフリカのラマポーザ大統領は基調講演の中で「実際にご自身の目で見ていただきたい、ここは見返りのある場所である」と訴えた。

◇

南アフリカと日本との関係は古く、1910年には両国の国交が樹立されている。18年にはケープタウンに日本総領事館が設置され、今年100周年になる。アフリカ大陸初の日本の公館だ。

南アフリカは、サブサハラ・アフリカ全GDPの約2割を占め、アフリカ経済をけん引する。日本企業も約140社進出する。整備された道路網やヨハネスブルク・サントン地区の街並みなどを見て、

「まるでヨーロッパだ」という感想をもらす人も多い。

だが、華やかな面だけではなく課題もある。例えば、雇用の問題だ。失業率は約27%、若年層では約5割の数値だ。人種間格差も著しい。

国際協力機構（JICA）としても、この課題に対し、さまざまなアプローチから協力を行っている。その一つが産業人材育成プロジェクトだ。産業界が望む人材の輩出を促進すべく、若者が社会で活用できる実務能力を高め、主体性を身に付けるための研修を工科大学を中心に導入している。

また、日本の大学の修士課程への留学と日本企業でのインターンを組み合わせた産業人材育成プログラム「ABEイニシアティブ」も実施中だ。約2年間日本の生活や文化に触れ、日本企業で職場経験を積んで戻ってくる。アフリカ全体では現時点までで約1200人が同プログラムに参加した。貴重な人材群である。

16年、第2期生が中心となって

## 日本と産業人材育成プログラム

南アフリカ事務所長

せきともひろ  
関智宏氏



ABEイニシアティブ第四期生の壮行会

「KAKEHASHI AFRICA」というネットワークグループを立ち上げた。南アフリカだけでなくアフリカ全体のABEイニ人材が繋がっている。正に日本企業との「架け橋」となるべく、アフリカの生の情報提供や人材紹介を目指している。南アフリカや他のアフリカ諸国で事業を試みたいと考える日本企業の方々にとっては、貴重な情報源となるだろう。彼らの活動の本格化に向けてJICAもサポートしていきたいと考えている。

アフリカは大いなる可能性を秘

めている。そして、南アフリカはアフリカのゲートウェイになり得る国だ。JICAとしても、多くの日本企業が進出している南アフリカならではの協力を模索していきたい。

（隔週掲載）

【略歴】91年JICA入団。  
96-99年ジンバブエ事務所、  
10-13年南アフリカ事務所  
に勤務。資金協力業務部計画調整課長を経て17年4月から2  
回目の南アフリカ勤務。52歳。